

## 手術／検査等説明書・同意書

私は、患者様に対しての以下の治療に関する手術・検査・麻酔などの必要性・危険性及び合併症について説明いたしました。

### カテーテル検査／治療 説明・同意書

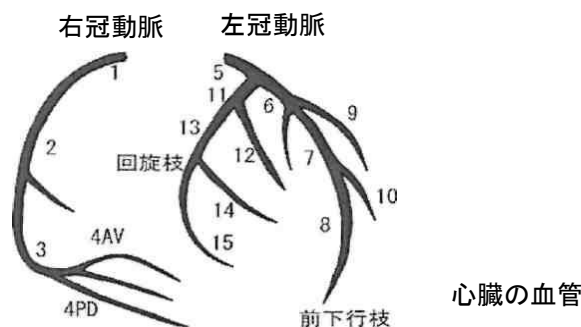
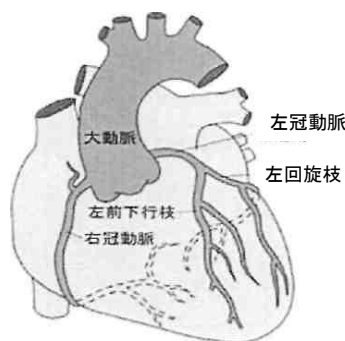
検査日時 \_\_\_\_\_ 時 検査・治療名 \_\_\_\_\_

#### 【カテーテル検査とは】

手首(橈骨動脈)・肘(上腕動静脈)・足の付け根(大腿動静脈)・首(内頸静脈)を通る血管に局所麻酔をした後、シースと呼ばれる管を挿入します。その管を通じて、レントゲンを見ながらカテーテルと呼ばれるさらに細長い管を目的の場所まで到達させ、造影剤の注入や薬剤の投与、各部位の圧力測定などを行う検査法です。

#### A 冠動脈造影検査

冠動脈とは心臓に酸素や栄養を運んでいる血管のことで、3本(右冠動脈・左前下行枝・左回旋枝)に分かれます。これらの血管にコレステロールを中心としたプラークがたまっていくことで(動脈硬化)、狭心症(血流が悪くなること)、心筋梗塞(急に血管がつまること)を引き起こし、場合によっては生命に関わることもあります。この検査は冠動脈の状態を調べる検査です。各部位(手首・肘・足の付け根)の動脈からカテーテルを挿入し、大動脈の根元にある冠動脈の入口にカテーテルを挿入します。カテーテルを通して造影剤を注入する様子をレントゲン撮影することで、冠動脈の状態を詳しく調べていきます。また冠動脈が痙攣により細くなることで血流が悪くなる狭心症のことを、冠れんしゅく性狭心症といい、この病気が疑われる場合は、薬物により痙攣を誘発させることで診断する場合もあります。造影検査で認められた狭窄部位に対して冠動脈内に圧ワイヤーを挿入して追加の検査を行い、治療の適応の有無を詳しく調べる場合もあります。



心臓の血管

#### B 大動脈造影検査、左室(右室)造影検査

大動脈や左心室(右心室)にカテーテルを挿入し、造影剤を急速注入します。その状況をレントゲンで撮影し、大動脈の状態、心臓(心室)の動き、弁(大動脈弁・僧帽弁)の状態を調べることができます。

#### C 右心カテーテル検査

静脈から風船付きカテーテルを挿入し、心臓の静脈系(右心房・右心室・肺動脈)にカテーテルを進めていきます。これらの場所の圧力を測定することで、心不全の状態を調べることができます。

#### D 末梢(下肢)動脈造影検査

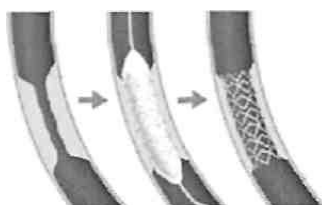
先に述べた動脈硬化という現象は全身の血管に起こる可能性があり、各々の部分で血液不足による症状を引き起こします。腕・肩・足の血管や腎臓など様々な部分に起こりますが、一般的には下肢の血管に多く認めます。下肢血管の動脈硬化により血流が悪くなると、歩行時の痛み(間欠性跛行)を呈するようになります。閉塞性動脈硬化症といい、進行すると安静時疼痛(じっとしていても痛い)、下腿潰瘍(傷が治らない)を呈することがあり、ひどい場合は救命のために下肢を切断する場合もあります。下肢の動脈の状態を調べるために、心臓の検査と同様に動脈からカテーテルを挿入し、足の血管に持ち込み、造影剤を用いてレントゲン撮影を行います。

#### E その他検査 ( )

#### 【カテーテル治療】

##### F 冠動脈形成術

冠動脈の狭窄や閉塞している部分に対し、血流を改善させる治療法です。カテーテルを冠動脈に挿入した後、ガイドワイヤーという極めて細い針金を冠動脈に沿わせて進めていき、狭窄(閉塞)している部分を通過させます。その後風船付きカテーテルを進め、病変部で風船を膨らませます(風船治療;下図左)。さらに必要に応じてステント(金属の網目状の管)を病変部に留置します(ステント留置術;下図右)。治療は血管内超音波(IVUS)、光干渉断層法(OCT)と呼ばれる冠動脈内部を詳しく観察できる画像診断機器を併用しながら行います。また、冠動脈近位部の動脈硬化に対する方向性粥腫切除術(DCA)や石灰化病変と呼ばれる極めて固い動脈硬化に対するロータブレード等の特殊カテーテルを用いた治療を行う場合もあります。



## ステント留置術

ステント内血栓症とは、ステント治療の直後～数年たって内部に血栓(血の塊)が突然生じることをいいます。非常にまれな現象ですが、一旦生じると急激に冠動脈の血流が悪くなるため、急性心筋梗塞と同じく、生命に関わることもあります。そのためステント治療を行った場合は、血栓症を予防するために、抗血小板薬(血をさらさらにする薬)の服用が必須となります。抗血小板剤はステント留置直後は2種類内服する必要がありますが、一方で出血性疾患(胃潰瘍、脳出血、外傷など)を助長する危険性もあります。特に抗凝固薬を併用して内服されている場合は出血のリスクとなります。抗凝固薬の内服の有無や血栓症リスクを考慮して、抗血小板剤2種類の内服期間はこちらから指定します。

高度の徐脈(脈が遅い状態)では、血流が十分に全身に到達できず、意識を失うことがあります。その際は、電極付きカテーテルを心臓まで挿入し、外部から微弱な電気を流すことで一定の脈を打つことが可能となります。不整脈や、心筋梗塞や狭心症の合併症等で脈が遅い時行われますが、基本的には一時的な処置であるため、長期間にわたる際は、埋め込み型の永久式ペースメーカーを考慮します。

また、医療のさらなる発展に寄与することを目的として、種々の臨床研究や学会発表において、検査データ及び治療の経過を記録・録画したデータを使用させていただく場合がございます。その際には、患者様のプライバシー保護に十分配慮し、個人が特定されることのないよう適切に管理いたします。また、これにより患者様に不利益が生じることは一切ございません。

三田市民病院